

たい。

**【ふるさと納税の取り組みについて】**

**問 年度別の推移(件数・金額)について**  
答 平成20年度が10件・89万5千円、平成21年度が4件・48万円、平成22年度が7件・28万円、平成23年度が6件・70万5千円、平成24年度が5件・41万5千円、平成25年度が6件・85万円、平成26年度が19件・77万5千円、平成27年度については、10月末現在で43件、270万1千円となっている。

**問 納税額および件数は、県内での位置にあるのか。**

答 平成27年度については9月末時点で12位となっている。

**問 県外で活躍する町内出身者への協力、呼びかけについて**

答 町外在住者へのチラシの配布や町ホームページへの掲載など、適宜広報活動を行っている。また、本年9月からインターネット専用サイト「ふるさとチョイス」を利用しており、本町に縁のない方からの寄附も増えている。

そのほか、私や副町長、教育長が、関西北宇和会や関東北宇和会などの地元出身者の会に出席した折にお願いをし、周知に努めているところである。

**【競走入札参加資格等指名業者の選定について】**

**問 業者の選定に公平さが保たれているか。**

答 業者の選定にあたっては、「鬼北

町建設工事請負業者選定要綱」の基準に基づき公平、公正な選定に努めている。

指名競争入札における業者の選定については、「競争参加者資格審査申請書」が提出され、資格があると認定した業者の中から、競争参加資格審査会において事業に見合った資格等の有無を審査し、指名している。また、一般競争入札の場合は、「鬼北町一般競争入札実地要綱」に基づき競争参加資格審査会において、入札参加資格を定めて公告している。いずれの場合も、基本的に町内業者を優先し、資格等で町内に該当する業者がない場合は、県内、県外と地域要件を緩和し選定している。

**問 特殊な物品の定義づけをしているか。また、している場合、担当者が事業課に指名業者の意見を求めることがあるか。**

答 物品購入に関して、特殊な物品等の特段の定義づけはしていない。また、担当者が事業課に指名業者の意見を求めることはない。

**問 情報の管理・流出防止について**

答 業者選定の素案の作成は各課の担当者が作成し、決裁を経て、競争参加資格審査会において審査を行い、その結果をもって理事者が決定している。

情報の管理・流出の防止については、行政全般の事項に対し、地方公務員に課せられている「守秘義務」の徹底を図り、万が一流出等の事態が発生した場合には厳しく対処していきたい。

**【2017えひめ国体の推進状況について】**

**問 使用する体育館の整備計画について**

答 現在、国体関連の施設整備として、照明設備について水銀灯からLEDへの改修工事に着手し、1月中旬の完成予定である。また、トイレ設備について、和式トイレの一部を洋式に改修する工事を行っている。これは、2月10日までの工期である。

体育館内の床面については、研磨塗装による経年劣化した床の整備と現行ルールに合わせたライン塗装を実施することとしており、2月末の工期予定としている。なお、この体育館床面の研磨塗装は、バスケットボール競技での正式指摘であるので、費用は全額宇和島市が負担することとなっている。

**問 駐車場は現状のままで購入できるのか。**

答 総合公園内の既存駐車場約200台、グラウンドを駐車場として約600台、合わせて800台を確保する計画としている。先進地の状況を見て、不足するようであれば、アルコール工場跡地も確保し、送迎バスの計画も視野に入れたと考えている。

**問 国道320号線から体育館への進入路幅員は現状のままでもいいのか。**

答 町道永野市豊岡線の車道幅員は、現在6・1mある。大型バスの幅員は2・5mのため、離合は可能な道路となっている。また、国体時のバスの乗り入れについては、出場チームの関係するバスが主になると考えられるが、近年の先催地では、その

ほとんどがマイクログラスであり、大きな障害となる見込みはないと考えている。

ただ、町道から国道への交差点においては、バスの場合、左折・右折する際に、苦勞することが十分考えられるので、交通警備の最重要箇所として位置づけする必要があると考えている。

**問 合宿誘致のための複合施設の建設計画について**

答 合宿施設と温水プールの複合施設での建設ができないかと考えており、現在これらの施設整備に係る補助制度を探しているところである。

**問 国体開催までの競技種目に関連した事業の計画について**

答 平成25年度・26年度においては、元日本代表選手やプレミアリーグの選手等によるバレーボール教室等を開催してきた。来年度は、リハーサル大会として、四国高校総体女子バレーが6月に、全国教職員バスケットボール大会が8月に開催される。この2大会は、競技大会の進行や、選手の輸送、警備、おもてなしなど、国体を想定したりハイスールとして開催するため、大会の開催自体が、国体の啓発に繋がるであろうと考えている。

さらに今年度は、鬼北総合公園体育館の国体関連改修工事等があり、日程調整ができなかったが、来年度は再度、元日本代表選手等による教室等を開催していく計画としている。